

大和中央道他4路線の廃止及び石木城線 都市計画(案)説明会概要(1/8)

日 時 : 平成24年7月31日(火) 19時00分～20時00分
場 所 : 大和郡山市矢田町 矢田コミュニティ会館
出席者 : 約89名

[主な質疑応答]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の廃止)に関すること

- 廃止した都市計画道路に代わる新たなルート等の道路整備を考えていないのか。何十年もほったらかしておいて、今さら廃止は心外。この地域には、子どもの森や民俗資料館の観光施設もあり、土日は非常に車が多く、狭い道にあふれている。そのようなことも考えた上で廃止をするのか。
→廃止する道路は、昭和39年に都市計画決定したものだが、その当時と比べて、将来の人口や交通量が減少すると予測されるなど、社会情勢が変化しているため、今回廃止としている。
- 新病院ができるため、そちらを重点投資するために廃止するのか。
道があれば発展する。地域がもっと活性化していくためには、アクセスとなる道路が必要。
→都市計画道路の見直しは、平成21年度から実施している。新病院ができるから、廃止というわけではない。都市計画道路の廃止については全県的に実施している。
地域内の生活道路については県と市で検討していきたい。
- 奈良県は、人口動向をマイナスにとらえすぎている。人口減だから道路を廃止するというのではなく、道路行政の遅れが人口減をまねいているので、廃止ではなく推進していただきたい。
通勤時間帯は周辺の道路が混雑しているが、どう考えているのか。
廃止するのであれば、大和郡山市の根幹の道路計画から新たにやっていただき新しい計画を一日でも早く実施していただけると約束していただきたい。
→人口の減少、それに伴う車の減少、また道路整備の遅れも含みで平成42年を想定し見直しを行っている。人口の減少の原因については、奈良県の場合、出生率が低いことが大きく影響している。道路の具合が悪いのは認識している。奈良県の問題としては、幹線道路が少ないため、地域に通過交通が入りこんでいるということである。地域が安全になるよう、しっかりと幹線道路を整備していきたい。また、交通事故減少への対策といった地域の課題にも個別に取り組んでいる。
- 北側の災害地域や病院による交通量の増加、また民俗博物館に路線バスを通すにはどうしたらいいかなど総合的な観点が抜けていると思う。このような総合的な考え方について、今後、自治連合会と市が整理・検討して、県にお願いしていきたいと考えている。

2.石木城線の新設(新規都市計画決定)に関すること

- 新しい道路について自転車はどう考えているのか。
→3.5mの自歩道の中で歩行者区間と自転車区間を分けて対応できるよう考えている。

3.地区内道路の整備に関すること

- 高山富雄小泉線においても、大和中央道や大和田紀寺線の最後に記載されている「当該路線が

備されない場合地区内交通を担う道路が必要であると考えます。」という記載を追記していただきたい。(高山富雄小泉線の廃止区間周辺の地域内道路整備の要望)

4.その他

○富雄川の水量を気にしている。新奈良病院の建設により雨水の流れはどうされるのか。

→病院の敷地に分水嶺があるので、敷地の約3割は富雄川で雨水排水をお願いしたいと考えており、現在、石木町の水利組合と協議中。その他約7割は秋篠川の流域になるので、関係水利組合と協議中。